

ケータイアドレスポータビリティ ～携帯電話番号ポータビリティ (MNP) に向けて～

ケータイアドレスポータビリティ 商標登録申請

携帯電話会社を変えても、携帯電話のメールアドレスを引き続き使えるシステムを「ケータイアドレスポータビリティ」と名付け、商標登録申請をしました。

今年の秋、携帯電話番号ポータビリティ (モバイル ナンバーポータビリティ: 略称 MNP) が始まります。

それにより、[55%のお客様が携帯電話会社を変える、という米国調査会社の予想もあれば、面倒だから乗り換えない、という野村総研の予想](#)もあります。

予想の日米対決! みたいですね。

えらべるメール ケータイ版

当社では、「ケータイアドレスポータビリティ」として使える技術を『[えらべるメールケータイ版](#)』に実装しています。

今秋の携帯電話番号ポータビリティ実現を大きなチャンスとして捉え、その準備をしています。

当社は、アイデアや技術には自信がありますが、販売が弱点です。

今回、はじめての試みなのですが、当社の特許申請中の技術を、ライセンス契

約として他社へ供給することを決定し、プレスリリースをしたところ、これまで一番多いと思われるほど、ニュースサイトに掲載されました。

[Yahoo!ニュース『インターリンク、MNPに先がけ「ケータイアドレスポータビリティ」』](#)

(ケータイアドレスポータビリティで検索していただければ、たくさん出てきます)

この技術を大勢の方に使っていただければ幸いです。

いつものメール送受信操作でOK

～当社の独自性

当社以外のケータイ用メールサービスは、あるサイトに接続して、そこで送受信操作を行うタイプ (Web メールタイプ) がほとんどです。

いったんサイトにアクセスするという手順が必要で、手間がかかりますし、パケット料金もかかります。

さらに、送受信操作がケータイの通常のメール送受信操作とは異なるため、そのメールサービス独特のメール送受信操作を覚えなければなりません。

アプリで実現するケータイメールサ

ービス (アプリタイプ) も、最初にあるサイトに接続する (Web メールタイプ) か、最初にアプリを立ち上げる (アプリタイプ) か、の違いだけで、本質的には同じです。

当社の[えらべるメールケータイ版](#)は、いつも通りのメール送受信操作でOK、というのが、当社だけの大きな特長です。

アイデアや売り込み受け付けます

「ケータイアドレスポータビリティ」については、近々、ホームページを立ち上げる予定です。(3月初旬)

URLは<http://k-tai.ne.jp/>

また、販売が弱点の当社としては、販売に関するアイデアや売り込みをいつでも受け付けています。

こうやって売ったらいいというアイデアや、自分は販売のプロである、というような売り込みがありましたら、[お問い合わせページ](#)よりメール頂けましたら幸いです。

寄せられたメールは、すべてをありがたく拝見させていただきます。

ただし、すべてにお返事をさしあげるのは無理なので、その点はご了承ください。